

20万人のひろば



ミニ・ガイド

■防衛医科大学校（医学科・看護学科）学生募集 ①医学科、②看護学科、いずれも18歳以上21歳未満の人対象。受け付けは①10月8日(水)、②10月3日(金)まで。試験日は①10月25日(土)、②10月18日(土)。お問い合わせは自衛隊千葉地方協力本部船橋出張所 ☎047-475-2084へ。

■精神障害者家族「対話の集い」 精神障害者を身内に持つ家族を対象に、社会福祉協議会の役割や支援について講師を囲み話し合う集いを開催します。8月28日(木)午後1時30分～4時、プラッツ習志野（習志野中央公民館）北館集会室。申し込みは、電話またはファクスで習志野八千代心の健康を守る会・渡邊 ☎453-6760へ。

■弁護士・司法書士・税理士による合同無料相談会 各専門家が合同で法律問題、登記、税金問題等の相談に応じ、総合的なアドバイスを行います（電話相談不可）。9月6日(土)午前10時～午後4時15分、千葉県弁護士会館3階講堂（千葉市中央区中央4-13-9）。予約制、先着42人。申し込みは千葉県税理士会 ☎043-243-1201へ。

市民伝言板 /

●やちよマミーズプラスファミリーコンサート 赤ちゃんから大人まで気軽に楽しめる吹奏楽コンサート。9月6日(土)午後1時30分開場2時開演、市民会館。詳細は右のコードから。やちよマミーズプラス・宮川 ☎080-5205-8126



リサイクル・ガイド

消費生活センター ☎483-1151（代表）

●受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前9時～正午・午後1時～5時・市内在住の人が対象です。企業・営利団体は利用できません。【ゆずります・無料】▶粉末洗濯槽クリーナー（縦型洗濯機用）▶屏風（馬の絵）／横40cm（4枚）厚さ1.5cm×高さ140cm 上記の他に、市役所1階、市ホームページでもリサイクル品情報を紹介しています。

全日本インドiakトーナメント大会で優勝

八千代市インドiakカチーム「すずらんレッド」

6月14日に埼玉県所沢市で開催された「第20回全日本インドiakトーナメント大会」シニア女子（60+）部門で優勝した市内のインドiakカチーム「すずらんレッド」の皆さんが7月8日に市長を表敬訪問しました。

インドiakカは、1930年代末旧西ドイツで考案され、羽のついた特殊なボール（インドiakカボール、写真中央下）を、ラケットなどの道具を使わずに素手で打ち合うバレーボールタイプのスポーツで、生涯できるスポーツとして注目を集めています。

チーム主将の君塚さんは、「チームを結成した40年の節目に優勝できたことがとても

うれしい。インドiakカのことを知らない人も多いので、今回の優勝をきっかけに知ってもらいたいです」とコメントしました。



▲チームのみなさんと服部市長（中央）・嶺岸教育長（左）
服部市長の手にあるのはインドiakカボール

安楽選手がIFSCクライミングワールドカップボルダー3連覇



▲撮影：Lena Drapella/IFSC

6月に行われたIFSCクライミングワールドカップ2025ボルダーの最終戦（全6戦）が終了し、本市出身の安楽宙斗選手がボルダー種目で年間総合優勝を果たしました。

今シーズンは初戦から好調の3連勝でスタートし全大会表彰台に登る安定した成績で3年連続の年間総合優勝となり、見事に3連覇を達成しました。おめでとうございます。市はこれからも安楽選手を応援していきます。

第107回全国高等学校野球選手権千葉大会で八千代松陰高校が準優勝

7月27日、ZOZOマリンスタジアムで開催された「第107回全国高等学校野球選手権千葉大会」の決勝戦へ出場した、八千代松陰高校。試合は7回表まで八千代松陰高校がリードしていましたが、その裏で追いつかれ、同点のまま延長10回でタイブレークへ。

10回表で勝部匠亮選手、高橋結人選手、下平悠貴選手たちのタイムリーツーベースヒットなどで4点の追加点をあげました。

その裏で守り切ることができず7-8で惜敗しましたが、その激闘ぶりに応援席からは惜しめない拍手が送られました。



▲ピンチの際、集まって投手に声をかける内野手たち



▲今年もおいしい梨が実りました

やちよの梨の出荷が始まっています

今年は天候に恵まれ、生育も良好でおいしい梨となっています。8月中旬から豊水などが出荷され、9月中旬からはあきづきなどの品種が10月ごろまで楽しむことができます。やちよの梨は市内の直売所などで販売していますので、近くの農園へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

やちよ文芸コーナー

■八千代歌壇

鶴岡 美代子選

終電車にあなたが握りし手のひらを暗き車窓におしあててみる
（八千代台東） 森野 豊作

薫風に揺るる一叢山吹の波間に遊ぶ一匹の黄蝶
（ゆりのき台） 池内きよ子

すれちがうどの面輪にも笑みのあり「ゆらゆら橋」の百尾の鯉に
（大和田新田） 諏訪 俊一

朝陽背にピアノソナタを聴くわれは心いやされひとり居なごむ
（米本団地） 橘 靖子

若き父が子を抱き指差すその先に電車あらはる夕暮れの街
（大和田） 井上 正則

白きけむりローマの空につひに昇り新たな教皇の誕生祝ふ
（八千代台西） 元村 泰介

針仕事母より受け継ぐDNA古希で楽しむ着物リメイク
（村 上） 植村 恭子

身軽にと一日一捨日課とす後期高齢踏んけんのように
（八千代台北） 野原 隆志

選評 一首目、作者が男性と知って驚いた。作品は想像でも、自身のことを詠むのが基本だ。にもかかわらず採ったのは、デパートの余韻に浸っている女性の心理を見事に具体的に表現していたから。二首目、季節感と色彩感がよい。三首目、新川を飾る鯉のぼりは五月の風物詩なのだろう。地元愛が感じられた。

■川柳

八千代川柳連盟選

高騰の米価のナゾが渦を巻く 吉 橋 根岸 ムベ

戦後よりずっと愛したアマリス 村上団地 前田 ゲン

花よりも酒盛り楽し花見会 緑が丘 加藤 流山

試験場時計の針は容赦ない 村上 齋藤 楽生

可もなく不可でもない日良しとする 勝田台 梶田きみ子

カタカナ語溢れ通訳欲しくなり 勝田台 伊藤 良江

一枚に皆でおさまる嬉しい日 緑が丘 黒木 麗

年金が悲鳴あげてる電気代 ゆりのき台 石田 らく

■俳句

村上 喜代子選

緑蔭の下におしやべり今日もまた 米本団地 唐澤 菊枝

雨模様ほのかにかおる花卯木 ゆりのき台 八木ヶ谷聖一

房総の里は平や青田 風上高野 吉田 一朗

この国の減りゆく子供しやばん玉 米本団地 佐藤 豊

白南風や砂丘の砂を瓶につめ 八千代台西 加田 和子

天道虫葉指より大空へ 勝田台北 一條 修子

真夏日の冷し中華の旗も萎え 米本団地 池田由紀子

喪の列の幼ゆびさす花石榴 緑が丘 藤枝 昌文